

科目名	メイキング基礎実習 I			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。
担当教員	黒沢、東海林、嶺脇、多賀谷			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	216時間	単位数	6単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝黒沢(ジュエリーデザイナー)、東海林(ジュエリークリエイター)、嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習 I-1(リング制作)			
	内容	道具加工・糸ノコ切り回し／平打ちリング／甲丸リング リングの最も基本的な形状の平打ちリングと、商品に多く使われる甲丸リングの制作を通し、プロセスや使用する工具について学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-2(覆輪留めリング)			
	内容	覆輪留めリング カボションカットの覆輪留めリングを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-3(爪留めペンダント)			
	内容	ファセットカットの爪留めペンダントを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
授業の計画展開	メイキング基礎実習 I-4(彫留め技法)			
	内容	彫り留めリング／ピアス 小さな石を留める技法を学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-5(ロケットペンダント)			
内容	ロケットペンダント カシメ・ヒンジの構造の理解と制作方法			
授業の計画展開	メイキング基礎実習 I-6(宝石研磨)			
	内容	宝石研磨 原石のカボションカット技法を学ぶ		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	メイキング造形実習 I		授業のねらい
担当教員	黒沢、東海林、嶺脇、多賀谷		ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。ジュエリーコンペイションではジュエリーに於ける自己表現のあり方や自己の探求を求める。
対象学年	1年		
必修選択の別	必修		
授業時数	528時間	単位数	
開講期間	2021.4.1～2022.3		到達目標
授業形態	実習		新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
備考	実務経験有＝黒沢(ジュエリーデザイナー)、東海林(ジュエリークリエイター)、嶺脇(ジュエリー作家)		
授業の計画展開	メイキング造形実習 I-1(WAXリサーチ)		
	内容	ワックス基本リング／ワックスデザインリング WAX造形技法を学び、基本形状リングの制作 テーマからリサーチし、オリジナルリングを制作する WAX原型制作から鑄造方法、仕上げまでのロストワックス技法のプロセス	
	メイキング造形実習 I-2(ブローチ)		
	内容	箱物の制作方法とブローチ金具の取り付け方法を学ぶ	
	メイキング造形実習 I-3(ワイヤーピアス)		
	内容	ワイヤーピアス 具象物をモチーフとし、シルバー線でピアスを制作する	
	メイキング造形実習 I-4(パールジュエリー)		
内容	パールを使用しジュエリーを制作、パールの留め方を学ぶ		
メイキング造形実習 I-5(ジュエリーコンペティション)			
内容	ジュエリーコンペティション 1年間で習得した技法や技術を生かし、オリジナルジュエリーの制作を行う		
メイキング造形実習 I-6(オリジナルストーンリング)			
内容	自身でカットした宝石を留めたリングの制作		
履修上の注意事項			
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト		

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	デザイン基礎実習 I			授業のねらい ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解、アイデア展開からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	田坂、黒沢、島崎			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	248時間	単位数	7単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、黒沢(ジュエリーデザイナー)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-1(PCによるデザイン)			
	内容	PC演習(アフィニティデザイン/アフィニティフォト)		
	デザイン基礎実習 I-2(立体デザイン)			
	内容	2D、3Dからのデザイン展開		
	デザイン基礎実習 I-3(企画デザイン)			
	内容	テーマからのデザイン展開		
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-4(製図の基礎1)			
	内容	dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解 dr6質感表現1/dr7平打ちリング		
	デザイン基礎実習 I-5(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	デザイン基礎実習 I-6(製図の基礎2)			
	内容	dr8甲丸リング/dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	宝石学A-1			授業のねらい 宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など)を幅広く習得する。
担当教員	森			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2021.4.1~2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学A-1(宝石の基礎知識) 内容 宝石の基礎知識			
履修上の注意事項				
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	学校オリジナルテキスト			
参考文献	宝石教室、宝石、ジュエリーコーディネーター検定3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース

科目名	コンピューター実習 I		授業のねらい CADソフト「ライノセラス」の操作方法の基礎を習得していく。	
担当教員	本多			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 CADソフト「ライノセラス」を使って、基本的なジュエリーデザインのデータを仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	コンピューター実習 I -1(CAD造形リング) 内容 CAD造形リング			
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが求められる。			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎造形および基礎技法を踏まえ、更に専門的なコンテンポラリージュエリーに於ける表現方法を習得していく。
担当教員	齋藤、島崎、多賀谷			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	5単位	到達目標 新しい素材の加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝齋藤(現代美術作家)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	<p>メーキング基礎実習Ⅱ-1(樹脂によるジュエリーの制作)</p> <p>内容 シリコン型を使った樹脂のキャスト方法方法を学ぶ</p> <p>メーキング基礎実習Ⅱ-3(素材の研究)</p> <p>内容 ・自然素材、人工素材を幅広くリサーチし、さまざまな素材と関わる。表現の可能性だけではなく、素材に合った加工法も合わせて研究する。 ・荒田朋美講師を迎え、素材を活かしたジュエリー制作の実際を学ぶ。</p>			
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅱ		授業のねらい JM基礎実習で培った形と素材の研究から更に各自のテーマ・コンセプトに合わせて表現方法を発展させていく。	
担当教員	齋藤、島崎、多賀谷			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	552時間	単位数	17単位	到達目標 各自テーマに合わせての新しい素材の加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝齋藤(現代美術作家)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(グループ展)			
	内容	・MATERIAL RESEARCHで発見したアイデアを発展させ、展覧会で発表するジュエリーを制作する		
	メーキング造形実習Ⅱ-2(3つのブローチ制作)			
	内容	・ブローチ金具の原理を学び、形状に合わせたオリジナル金具を制作することで、構造としくみについての理解を深める。		
	メーキング造形実習Ⅱ-3(機能を持つジュエリー)			
	内容	・機能を持ったジュエリーの制作		
メーキング造形実習Ⅱ-4(ゴールドリング制作)				
内容	・素材をリサーチし、導き出したテーマからデザインを展開する。 ・素材としてのゴールドの特性、加工方法を学ぶ。			
メーキング造形実習Ⅱ-5(企業コラボレーション課題)				
内容	・デザインを通じた社会への貢献を意識したジュエリーの制作			
メーキング造形実習Ⅱ-6(ワークショップ)				
内容	・社会で活躍するアーティスト、デザイナーを招いて行う短期集中ワークショップ			
履修上の注意事項	素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎技法を踏まえ、ジュエリーデザインに必要なレンダリング、製図読解、アイデア展開の応用からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	田坂、齋藤			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	104時間	単位数	3単位	到達目標 ジュエリーデザイナーに必要な製図の精度、製図の読み取り、レンダリングの完成度を醸成させることを目標とする。 またPCでジュエリーデザイン画を完成させる。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=田坂(ジュエリーブランドオーナー)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅱ-1(ポートフォリオ)			
	内容	・自己をプレゼンテーションするポートフォリオ制作		
	デザイン基礎実習Ⅱ-2(共通講義・レポート)			
授業の計画展開	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	デザイン基礎実習Ⅱ-3(ドリル)			
	内容	・デザインドリル ・図面読解、ハイライトレンダ		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅱ		授業のねらい PCソフト(グラフィックソフト、プレゼンテーションソフト)の習得によりツールとしてアクセサリ制作に発展するまでの可能性を探る。またトレンドや市場性の知識を踏まえた上でのアクセサリ提案までを行う。	
担当教員	田坂、齋藤			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	144時間	単位数	4単位	到達目標 各自設定したコンセプトに基づき、ジュエリーの基礎知識を踏まえた上で、実作可能なジュエリーデザインを完成させる。また、市場調査から得た情報を洞し、独創的かつ市場性のあるアクセサリデザインを行う。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=田坂(ジュエリーブランドオーナー)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(カチの研究)			
	内容	カチの研究 カチにフォーカスをあてた立体造形を行う。カタチの抽出、発見、組合せの可能性を広げる。		
	デザイン造形実習Ⅱ-2(DIGITAL FABRICATION)			
	内容	・デジタルファブリケーションを使用したジュエリーデザイン		
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-3(サイトデザイン)			
	内容	・グループサイトの構築と、自身のWEBページの開設		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	宝石学A-2			授業のねらい ダイヤモンドの特性や品質に関する知識を学ぶ。また、ダイヤモンドの鑑定実習を通し、鑑定の流れ、グレーディングレポートの見方を学ぶ。
担当教員	森			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 ダイヤモンドの品質を見分け、簡易的な鑑定ができることを目指す。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学A-2(ダイヤモンド鑑定実習) 内容 宝石の基礎知識、ダイヤモンド鑑定実習			
履修上の注意事項	ダイヤモンドの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリー専攻

科目名	コンピューター実習Ⅱ		授業のねらい 1年次に習得したCADソフト「ライノセラス」の基本操作の復習とより独自性のあるジュエリーデザインへの応用を目指す。	
担当教員	本多			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 CADソフト「ライノセラス」による独自性のあるリングデータの作成
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	コンピューター実習Ⅱ-1(CAD造形リング) 内容 CADによるデザイン			
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが求められる。			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次までに習得した素材に対するアプローチを発展させ、社会性を持った作品を制作する。また外部での展示会・販売会を通して自己の作品のプレゼンテーション方法を習得する。
担当教員	多賀谷、島崎、齋藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	456時間	単位数	14単位	到達目標 各自テーマ・コンセプトに合わせての新しい素材の加工法と知識を学び、それに基づいて社会性のある作品を仕上げ、発表・販売することを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=島崎(ジュエリーブランドオーナー)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(コレクション)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・7月にEDGEにて行うショーの立案企画から、作品制作、演出、運営までを行う。 ・ショーでの発表を意識したデザイン、素材選び、完成までのスケジューリングに留意する。 		
	メーキング造形実習Ⅲ-2(展覧会)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ、コンセプトを踏まえたジュエリー制作。 		
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-3(販売会)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマをもち、量産をふまえた商品デザイン。 ・製造方法、素材選び、価格設定を行う。 ・店頭での接客も行う。 		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリー専攻

科目名	卒業制作			授業のねらい 3年次前課題までに習得した基礎造形力の集大成として、卒業制作における研究成果の表現の可能性を探求する。
担当教員	多賀谷、島崎、齋藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	288時間	単位数	9単位	到達目標 自身の明確な制作テーマに対して的確な技術技法や知識知恵を選択し、制作の計画を着実に実行し、集大成としての作品に仕上げることが目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=島崎(ジュエリーブランドオーナー)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	卒業制作 内容 ・3年間の集大成として、卒業制作展に出品する作品を制作する。			
履修上の注意事項	卒業制作テーマは3年次前課題までの作品に反映された研究テーマを各自整理し独自性のある作品を制作することが重要である。			
評価方法	1.課題作品:独創性・造形力・研究テーマに基いた作品 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい 最新のトレンドを知り、そこからジュエリーデザインにつなげる。また、できた作品をプロモーションするために販促物のあり方とその効果を学習する。
担当教員	田坂			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	3単位	到達目標 各自設定したコンセプトに基づき、ジュエリーの知識を踏まえた上で、ジュエリー企画を完成させる。また、自身の作品を効果的に伝えるための手段としての販促物についても企画し、確実に仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(ポートフォリオ)			
	内容	・自己をプレゼンテーションするポートフォリオ制作		
	デザイン造形実習Ⅲ-2(展示企画)			
	内容	・グループ展の企画立案		
	デザイン造形実習Ⅲ-3(ムービー制作)			
内容	・自分の作品イメージを表現するムービーの制作			
デザイン造形実習Ⅲ-4(ブライダルデザイン)				
内容	・ブライダル市場のリサーチから企画提案までをデザインする			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	ビジネス講義および実習Ⅲ			授業のねらい 市場調査を通し、時代性、社会問題、人々のニーズを掴む。調査結果を分析し、各自の洞察からの提案を発展させ、素材研究を試行しながら、現代に留まらず、未来の社会における新たな表現の可能性を探求する。また自身の提案の効果的な伝達方法を探求する。
担当教員	嶺脇			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	4単位	到達目標 調査結果、各自の洞察からの展開に基づき、社会に紐付いた市場性かつ独自性のある提案を行い、他者への効果的な伝達を目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅲ-1(リフォーム)			
	内容	テーマに基づいたリフォーム		
	ビジネス講義及び実習Ⅲ-2(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	ビジネス講義及び実習Ⅲ-3(プレゼンテーション)			
	内容	テーマに基づいたプレゼンテーション		
履修上の注意事項	市場調査、素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:調査力、分析力、展開力、造形力、伝達力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリーコーディネーター検定2、3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ファッションアートアクセサリ専攻

科目名	宝石学B-1		授業のねらい 1,2年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。	
担当教員	森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	44時間	単位数	1単位	到達目標 多種に渡る色石の特徴、品質、市場性についての知識を習得する。また各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学B-1(カラーストーン講義・実習) 内容 カラーストーン鑑定実習			
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ		授業のねらい 1年次で学んだ基礎造形および基礎技法に基づき、更に専門的な彫金の技法を習得していく。	
担当教員	築館、島崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	360時間	単位数	10単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝築館(ジュエリークリエイター)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(WAX模刻) 内容 WAXによる生物の模刻			
	メーキング基礎実習Ⅱ-2(WAXからの覆輪留めリング制作) 内容 WAX覆輪枠のリング制作とゴム型実習			
	メーキング基礎実習Ⅱ-3(空目金・色金ジュエリー) 内容 各種色金によるジュエリー制作/煮色着色技法			
	メーキング基礎実習Ⅱ-4(和彫り技法を使用した作品制作) 内容 模様彫りの習得			
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅱ		授業のねらい 1年次で学んだ基礎造形および基礎技法に基づき、更に専門的な彫金の技法を習得していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。コレクション作品制作ではジュエリーに於ける自己表現のあり方や自己の探求を求める。	
担当教員	築館、島崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	384時間	単位数	12単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝築館(ジュエリークリエイター)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(植物のブローチ制作)			
	内容	鍛金技法、打ち出し技法、色上げ技法などを使用したブローチの制作		
	メーキング造形実習Ⅱ-3(素材のリサーチからのジュエリー制作)			
	内容	素材特性や歴史についてリサーチし、コンセプトを設定したジュエリーを制作する		
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-3(コレクション作品制作)			
	内容	これまでに培ってきた技法を活用したジュエリー作品群の制作		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎技法を踏まえ、ジュエリーデザインに必要なレンダリング、製図読解、アイデア展開の応用からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	黒沢、島崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	104時間	単位数	3単位	到達目標 ジュエリーデザイナーに必要な製図の精度、製図の読み取り、レンダリングの完成度を醸成させることを目標とする。 またPCでジュエリーデザイン画を完成させる。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝黒沢(ジュエリーデザイナー)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅱ-1(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	デザイン基礎実習Ⅱ-2(ドリル)			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインドリル ・図面読解、ハイライトレンダ 		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅱ			授業のねらい 指定テーマ、条件に基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。また自身の作品を効果的に伝達するためのビジュアルデザインやWEBデザインを学ぶ。
担当教員	黒沢、島崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	144時間	単位数	4単位	到達目標 設定した作品コンセプトに基づき、ジュエリーの基礎知識を踏まえた上で、実作可能なジュエリーデザインを完成させる。また、ビジュアルデザインについての探求を通し、自身をブランディングする為のWEBサイトを完成させる。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝黒沢(ジュエリーデザイナー)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(ドローイング)			
	内容	構成力を養うためのジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅱ-2(リサーチ)			
	内容	造形力を養うためのジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅱ-3(WEBサイト構築)			
内容	ブランディングとWEB SITE構築・PCスキル			
デザイン造形実習Ⅱ-4(ポートフォリオ)				
内容	・自己をプレゼンテーションするポートフォリオ制作			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	宝石学A-2		授業のねらい ダイヤモンドの特性や品質に関する知識を学ぶ。また、ダイヤモンドの鑑定実習を通し、鑑定の流れ、グレーディングレポートの見方を学ぶ。	
担当教員	森			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 ダイヤモンドの品質を見分け、簡易的な鑑定ができることを目指す。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学A-2(ダイヤモンド鑑定実習) 内容 ダイヤモンドの鑑定実習			
履修上の注意事項	ダイヤモンドの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	コンピューター実習Ⅱ		授業のねらい 1年次に習得したCADソフト「ライノセラス」の基本操作の復習とより独自性のあるジュエリーデザインへの応用を目指す。	
担当教員	本多			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 CADソフト「ライノセラス」による独自性のあるリングデータの作成
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	コンピューター実習Ⅱ-1(CAD造形リング) 内容 CADによるリング制作			
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが求められる。			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次で学んだ基礎造形および基礎技法に基づき、更に独自の彫金の技法を探究していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。展覧会用ジュエリー制作では金属加工に於ける自己表現のあり方や自己の探究を求める。
担当教員	島崎、中梶、齋藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	456時間	単位数	14単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、中梶(ジュエリー作家)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(メタルリサーチ①)			
	内容	各種技法を体験し、新しい金属の可能性をを探索		
	メーキング造形実習Ⅲ-2(メタルリサーチ②)			
	内容	新しい金属の可能性からオリジナリティある表現を探索		
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-3(販売用ジュエリー制作)			
	内容	テーマに基づいた販売会用ジュエリーの制作		
履修上の注意事項	素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	卒業制作			授業のねらい 3年次前課題までに習得した基礎造形力の集大成として、卒業制作における研究成果の表現の可能性を探求する。
担当教員	島崎、中梶、齋藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	288時間	単位数	9単位	到達目標 自身の明確な制作テーマに対して的確な技術技法や知識知恵を選択し、制作の計画を着実に実行し、集大成としての作品に仕上げることが目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、中梶(ジュエリー作家)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	卒業制作 内容 ・3年間の集大成として、卒業制作展に出品する作品を制作する。			
履修上の注意事項	卒業制作テーマは3年次前課題までの作品に反映された研究テーマを各自整理し独自性のある作品を制作することが重要である。			
評価方法	1.課題作品:独創性・造形力・研究テーマに基いた作品 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい 指定テーマ、条件に基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。また自身の提案や作品を効果的に伝達するためのビジュアル・エディトリアルデザインを学ぶ。
担当教員	島崎			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	3単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			設定した作品コンセプトに基づき、ジュエリーの基礎知識を踏まえた上で、実作可能なジュエリーデザインを完成させる。また、ビジュアル・エディトリアルデザインについての探求を通し、自身をブランディングする為の作品集、WEBサイトを完成させる。
授業形態	実習			
備考	実務経験有=島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(ポートフォリオ)			
	内容	・自己をプレゼンテーションするポートフォリオ制作		
	デザイン造形実習Ⅲ-2(ブライダルデザイン)			
内容	・ブライダル市場のリサーチから企画提案までをデザインする			
デザイン造形実習Ⅲ-3(ビジュアル&サイトデザイン)				
内容	・ビジュアルエディトリアルデザイン ・webサイトデザイン			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	ビジネス講義および実習Ⅲ			授業のねらい 市場調査を通し、時代性、社会問題、人々のニーズを掴む。調査結果を分析し、各自の洞察からの提案を発展させ、素材研究を試行しながら、現代に留まらず、未来の社会における新たな表現の可能性を探求する。また自身の提案の効果的な伝達方法を探求する。
担当教員	嶺脇			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	4単位	到達目標 調査結果、各自の洞察からの展開に基づき、社会に紐付いた市場性かつ独自性のある提案を行い、他者への効果的な伝達を目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅲ-1(リフォーム)			
	内容	テーマに基づいたリフォーム		
	ビジネス講義及び実習Ⅲ-2(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	ビジネス講義及び実習Ⅲ-3(プレゼンテーション)			
	内容	テーマに基づいたプレゼンテーション		
履修上の注意事項	市場調査、素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:調査力、分析力、展開力、造形力、伝達力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリーコーディネーター検定2、3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース シルバーアクセサリー&クラフト専攻

科目名	宝石学B-1		授業のねらい 1,2年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。	
担当教員	森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	44時間	単位数	1単位	到達目標 多種に渡る色石の特徴、品質、市場性についての知識を習得する。また各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。
開講期間	2021.4.1~2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学B-1(カラーストーン鑑定実習) 内容 カラーストーン鑑定実習			
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次に学んだ石留めの基礎技法に基づき、多種に渡る新たな石留め技法を学ぶ。また七宝技法を学び、宝飾技法の基礎を習得する。
担当教員	山本龍、花岡			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	264時間	単位数	8単位	到達目標 規定の宝石を美しく石留めする。また七宝技法を含めた宝飾技法で着実に作品を仕上げる事を目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝山本龍(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(石留め実習) 内容 彫り留め(毛彫り留め、ミル留め)、パヴェ留め メーキング基礎実習Ⅱ-2(石留め実習) 内容 マス留め、裏取り メーキング基礎実習Ⅱ-3(石留め実習) 内容 Ptワイヤーセッティング メーキング基礎実習Ⅱ-4(七宝ブローチ) 内容 七宝基礎技法、ブローチ メーキング基礎実習Ⅱ-5(エンゲージリング) 内容 エメラルドカット石座、寄せ加工、マシーンセッティング			
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留めする。また規定の枠に七宝を施し基礎をおさえる事が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	『ジュエリーバイブル』			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	メイキング造形実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける金具の扱い方、装着感、重量バランスを学ぶ。指定のテーマに基づき各自が作品コンセプトを設定し、宝飾技法を応用し作品を制作する。
担当教員	山本龍、花岡			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	480時間	単位数	14単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝山本龍(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅱ-1(セットジュエリー) 内容 ゴム型量産技法 メイキング造形実習Ⅱ-2(展示会用ジュエリー) 内容 K18 宝飾技法 メイキング造形実習Ⅱ-3(七宝ジュエリー) 内容 七宝+宝飾技法、ブローチ メイキング造形実習Ⅱ-4(CAD造形) 内容 ライノセラスによるCADデータ作成			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	『ジュエリーバイブル』			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ		授業のねらい 1年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用する。また市場動向や指定テーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。	
担当教員	黒沢、島崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	96時間	単位数	3単位	到達目標 モチーフの捉え方、表現方法を学び、ジュエリーデザインとして完成させることを目標とする。また指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝黒沢(ジュエリーデザイナー)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅱ-1(共通講義・レポート) 内容 学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義 デザイン基礎実習Ⅱ-2(ドリル) 内容 デザインドリル、図面読解、ハイライトレンダ デザイン基礎実習Ⅱ-3(プランニング) 内容 企画力を養うジュエリーデザイン			
履修上の注意事項	指定のテーマに対する表現を数多く展開することが重要である。多くの展開から最適なデザインを選択し完成させる。			
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅱ			授業のねらい 指定のテーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。
担当教員	黒沢、島崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	152時間	単位数	4単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			各自設定したコンセプトに基づき、ジュエリーデザインを完成させる。また自身をプロモーションする為のポートフォリオを完成させることを目標とする。
備考	実務経験有＝黒沢(ジュエリーデザイナー)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(展示会用ジュエリー)			
	内容 テーマに基づいたK18ジュエリーデザイン			
	デザイン造形実習Ⅱ-2(ブローチ) (56授業時間、1単位)			
	内容 七宝+宝飾技法、ブローチデザイン			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-3(レイアウトデザイン)			
	内容 イメージブック、ポートフォリオ			
履修上の注意事項	指定テーマを深く洞察する事と自身の提案を資料に的確にまとめられることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	宝石学A-2			授業のねらい ダイヤモンドの特性や品質に関する知識を学ぶ。また、ダイヤモンドの鑑定実習を通し鑑定の流れ、グレーディングレポートの見方を学ぶ。
担当教員	森			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 ダイヤモンドの品質を見分け、簡易的な鑑定ができることを目指す。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学A-2(ダイヤモンド鑑定実習) 内容 宝石の基礎知識、ダイヤモンド講義・実習			
履修上の注意事項	ダイヤモンドの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	コンピューター実習Ⅱ		授業のねらい 1年次に習得したCADソフト「ライノセラス」の基本操作の復習とより独自性のあるジュエリーデザインへの応用を目指す。	
担当教員	本多			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 CADソフト「ライノセラス」による独自性のあるリングデータの作成
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	コンピューター実習Ⅱ-1(CAD造形リング) 内容 ライノセラスによるCADデータ作成、リングデザイン			
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが求められる。			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	メイキング基礎実習Ⅲ		授業のねらい 2年次に学んだ多種に渡る石留め技法を自身の作品に応用する。	
担当教員	花岡、山田、星野			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 石留めの正確性と装着性の良さを兼ね備えた作品を完成させる事を目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝星野(ジュエリークリエイター)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習Ⅲ-1(ワックス造形) 内容 ワックス造形、メレー石座ざぐり			
履修上の注意事項	作品完成度のみではなく、制作工程を理解し、計画的な作業手順を踏む事が重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次までに習得した宝飾技法を応用し、指定テーマにおける表現の可能性を探求する。
担当教員	花岡、山田、星野			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	424時間	単位数	13単位	到達目標 習得した技術を応用し、市場性のあるセットジュエリーを完成させる事を目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝星野(ジュエリークリエイター)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(マルチストーンブローチ) 内容 マルチストーン石留め、ロウ付け寄せ加工、ブーケブローチ メーキング造形実習Ⅲ-2(パヴェ留めジュエリー) 内容 パヴェ留めジュエリー メーキング造形実習Ⅲ-3(オリジナルジュエリー) 内容 テクニック研究 メーキング造形実習Ⅲ-4(スクエアストーンペンダント) 内容 スクエア石座制作 板爪石留め技法 メーキング造形実習Ⅲ-5(CAD造形) 内容 ライノセラスによるCADデータ作成			
履修上の注意事項	作品完成度のみではなく、計画的な作業手順を踏む事が重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	卒業制作			授業のねらい 3年次前課題までに習得した技術力と造形力の集大成として、卒業制作における研究成果の表現の可能性を探求する。
担当教員	花岡、山田、星野			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	288時間	単位数	9単位	到達目標 自身の明確な制作テーマに対して的確な技法を選択し、集大成としての作品に仕上げることが目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝星野(ジュエリークリエイター)			
授業の計画展開	卒業制作 内容 3年間の集大成として、卒業制作展に出品する作品を制作する。			
履修上の注意事項	卒業制作テーマは3年次前課題までの作品に反映された研究テーマを各自整理し、独自性のある作品を制作することが重要である。			
評価方法	1.課題作品:独創性・造形力・研究テーマに基いた作品 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅲ		授業のねらい 指定のテーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。また、完成作品の効果的なプレゼンテーション方法を習得する。	
担当教員	花岡、田坂			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	3単位	到達目標 各自設定したコンセプトに基づき、ジュエリーデザインを完成させることを目標とする。また自身をプロモーションする為のポートフォリオを完成させる。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(パヴェ留めジュエリー) 内容 パヴェ留めジュエリーデザイン デザイン造形実習Ⅲ-2(展示会用ジュエリー) 内容 卒業制作デザイン デザイン造形実習Ⅲ-3(ブライダル) 内容 ブライダルジュエリーデザイン、企画提案			
履修上の注意事項	指定のテーマを深く洞察する事と自身の提案を資料に的確にまとめられることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	『ジュエリーバイブル』			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	ビジネス講義および実習Ⅲ			授業のねらい 市場調査を通し、時代性、社会問題、人々のニーズを掴む。調査結果を分析し、各自の洞察からの提案を発展させ、素材研究を試行しながら、現代に留まらず、未来の社会における新たな表現の可能性を探求する。また自身の提案の効果的な伝達方法を探求する。
担当教員	花岡、田坂			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	4単位	到達目標 調査結果、各自の洞察からの展開に基づき、社会に紐付いた市場性かつ独自性のある提案を行い、他者への効果的な伝達を目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅲ-1(コンシューマー) 内容 テーマに基づいたデザイン提案 ビジネス講義及び実習Ⅲ-2(共通講義・レポート) 内容 学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義 ビジネス講義及び実習Ⅲ-3(プレゼンテーション) 内容 テーマに基づいたプレゼンテーション ビジネス講義及び実習Ⅲ-4(プランニング) 内容 テーマに基づいた企画提案			
履修上の注意事項	市場調査、素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる。			
評価方法	1.課題作品:調査力、分析力、展開力、造形力、伝達力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリーコーディネーター検定2、3級テキスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリークリエイターコース ハイジュエリー専攻

科目名	宝石学B		授業のねらい 1,2年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。	
担当教員	森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	44時間	単位数	1単位	到達目標 各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学B-1(カラーストーン実習) 内容 カラーストーン講義及び実習			
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			